

第15回 令和7年5月7日（水）

「5月4日(日)は、午後「三ツ沢競技場で陸上部の大会、夜は大和のシリウスでダンス部の公演を観させていただきました。」

まずはダンス部の3年生の皆さん、引退まで色々大変なこともあったと思いますが、本当にお疲れさまでした。

極限まで自分の体を鍛え上げる点で「すごい」の一言でした。特に「逞生」のパフォーマンスは圧巻でした。

もちろんトラブルは望ましくないのだろうけれども、あの場でリーダーの決断で全員が見事に2回目の演技に切り替えられたこと、それと音響トラブルで静まり返ったがゆえにダンスをしている皆さんの息遣いが聞こえてきて、別の感動がありました。

アーティスティックスイミングの競技でも、水の上は優雅でも水の中はものすごく過酷だと聞いたことがあります。1日6食を補給してもトレーニング中は痩せてしまうそうです。

ダンス部の皆さんのパフォーマンスは笑顔にあふれ、見ているほうは美しさや楽しさを感じますが、やっている演者の皆さんは相当な訓練と完成度が要求されているのだと思います。

このようなステージがみられる学校、神奈川の中で川和が唯一だといってもいいのではないのでしょうか。本当に素晴らしいものを見せてもらったと思います。ダンス部の皆さん、ありがとうございました。

同じく極限まで体を鍛え上げる陸上部の公式戦も、私はいままであまり見る機会がありませんでした。競技場への道のりの中で、何人かの選手が悔しさでうずくまっていたましたが、やり直しのきかない一回だけの勝負の厳しさを感じました。

私は時間で終わる競技の出身なので、最終ランナーがゴールするまで続くことの過酷さも感じました。実力の差がこれほど出てしまう競技だということを改めて認識しました。

男子の200メートルで川和の選手が二次予選を突破したレースなどを観戦することができました。部分的にしか見られなかったなので、また日程等わかったら教えてください。できるだけ応援に行きます。

いよいよどの部活も集大成ですね。悔いのないようがんばってください。